

白布ヶ丘だより

3月

…学校と家庭・地域の架け橋…

発行 栃木県立真岡高等学校

〒321-4331

栃木県真岡市白布ヶ丘24番地1

TEL 0285-82-3413 FAX 0285-82-2913

3月となりました。3月は年度が終わる月であると同時に、次年度へ向けての準備の月でもあります。1・2年生は学年末テストが終了し、新学年に向けて学習や部活動に励んでいます。また、3年生は本校での3年間の課程を修了し、新たな世界に巣立っていかうとしています。卒業生の皆さんは白布ヶ丘で身につけた至誠の精神と真高魂で、それぞれの世界で活躍されることを期待しています。

卒業おめでとう ございます

3月2日(火)、全日制は第62回、定時制は第38回の卒業式がそれぞれ挙行されます。全日制は237名、定時制は21名が卒業予定です。本校の卒業生総数は23,782名となります。

全定の両式典ともに、同窓会長・PTA会長はじめ多数の来賓をお招きして、厳粛かつ盛大に執り行う予定です。



<表彰式でPTA会長より授与>

全日制ではこれに先立ち、3月1日(月)、同窓会入会式が行われ、卒業生237名の入会式が今年度卒業生同窓会の紹介や歓迎の言葉、記念品の頂戴を兼ねて行われました。同窓会入会式は、同窓会が設立された支部等々、全国的に見ても大きなご支援・ご協力を頂いています。

同窓会入会式の後、表彰式が行われました。3年間の努力や活躍を褒賞して、学業賞や精励賞・特別活動賞等々、延べ167名が校長より表彰されました。また、文武両道奨励賞として13名がPTA会長から、高体連や栃木県サッカー協会・吹奏楽連盟等から42名が表彰伝達されました。

3月行事予定

- 1日(月) 同窓会入会式、卒業式予行
- 2日(火) 卒業式
- 3日(水) 学校評議員会、学校評価委員会
- 8日(月) 生徒休業(高校入試)
- 9日(火) 生徒休業(高校入試)
- 10日(水) 午前中授業、午後生徒休業
- 11日(木) 生徒休業(高校入試)
- 13日(土) サターデー
- 18日(木) 合格体験発表会(2年)
- 19日(金) 教科書販売
- 20日(土) 1年サターデー
- 24日(水) 修業式
- 25日(木) 入学予定者ガイダンス

4月

- 6日(火) 新2・3年登校日
個人写真撮影
- 7日(水) 入学式
- 8日(木) 始業式・対面式・離任式
身体計測

3学年担任より卒業生へ

卒業に寄せて

第3学年主任・4組担任 塚越 正典

本校で初めて担任し、2年から主任も初めて仰せつかった諸君も卒業する。光陰矢の如し。私にとってはただただ速かった。それだけ充実した日々を過ごせたのだと思う。そんな「すばらしい日々」をつくり出してくれた諸君にまず感謝したい。ありがとう。学年初主任になって初めて諸君の前で話した時、藤原正彦氏の「天才を作る六つの条件」を話したのを憶えていますか。その条件とは、

- ①野心(難関に挑戦する心)
- ②知識(既成の理論を学ぶ心)
- ③執着心(粘り強く取り組む心)
- ④楽観的であること(幸運を呼び込む心)
- ⑤論理的思考(人を説得する能力)
- ⑥美的感受性(感動する心)

以上の六つでした。特にあの時は「野心を持って」を強調したのを思い出します。諸君が卒業する今改めて上記の言葉を贈ります。そして本校で身につけた「一生懸命取り組む心」を失わず、今後も天下国家を論ずる人たれ。

3年1組 担任 山口 千香

卒業おめでとう。皆さんの白布が丘での3年間は、家族、友人、先生方など多くの人に支えられてきた3年間であった。今後は、大半の者が新しい地で新生活をスタートさせる。次の進路先では、夢の実現に必要な専門分野の知識・技術を習得するだけでなく、自分一人で生活を組み立てていくことも要求され、各自の真価が問われる時でもある。

ここで数学の教科担任としての観点から、話をしてみたい。入学当初の皆さんは、文字の扱いはですらモジモジしていたが、入試が近づくにつれてめきめきと力をつけ、その成長は目を見張るものがあった。また私は数学の授業を通して、出来る限り皆さんの解法を示してきたつもりだ。力づくの解法や簡潔な解法、最初の方針でだめなら違う見方で再度チャレンジ。どの方法で成功するのか最初は見通しが立たなくて、試行錯誤することによって正解にたどり着く。そんな数学という学問を通して、皆さんは多面的な見方や考え方、論理を正確に展開する能力、難問にも諦めず取り組む粘り強さ、そして正解にたどり着いたときの達成感など、たくさん力を身につけたはずである。

その力を真に発揮するのはこれからだ。今、社会は国際化が進み、政治も経済も混迷している。今後たくさんさんの困難に直面するであろうが、状況を多面的に分析してピンチをチャンスに変えたり、困難に真っ向から挑もうとする「覇気」で困難を乗り越えていってほしい。

縁あって、私は担任という立場で皆さんと共に貴重な経験をたくさんさせてもらった。常に「この生徒達を送り出した先に見えるものは何か」を自問自答してきたが、その答えもそろそろ出ず時期になった。まずは、皆さんとの出会いに感謝である。

皆さんもお世話になった方々に感謝の気持ちを忘れず、今後も夢の実現に向けて努力を惜しまないで下さい。皆さんがそれぞれの分野で活躍することを確信しています。

3年2組 担任 福田 拓己

♪チャッチャチャ一♪

♪チャッチャチャチャ一・・・♪

白布が丘に集いきて
試練の道に闘志湧く
真高健児の雄々しさを
今ぞ示めさん大地の上に
友よこぞりて進め勝利に
友よこぞりて進め勝利に

♪チャッチャチャ一

試練にこそ立ち向かえ。闘志を燃やして。決して逃げるときはなく。つらいときには、大きな声で歌ってみよう。きっと力が湧いてきます。歴史に名を刻め 真高健児！ 集中真岡！！

3年3組担任 山崎 清

「知」の風景

ヘーゲルは、「対象は本質的に知に属している」といっています。意識の変化は、対象への変化をもたらすからです。つまり、意識の深度によって対象も姿を変えるのです。「知」は、学習によって、経験によって、関わりによって、労働によって形成されるのです。それは、自分の中で時間と経験の集積といえるでしょう。私たちは獲得した「知」の程度によって、「知」

の風景を見ているのです。

いよいよ新しい世界に飛び立つ皆さん、「卒業とは新しい出発」でもあります。社会の情勢に遅れないように、生涯にわたり広い意味での学びに努めて下さい。そして、これからの人生において、白布ヶ丘とともに学んだ「知」を大切にして下さい。人と人との出会い、人と出来事、そうしたさまざまな出会いが、自分が今見える「知」の風景を作ってくれたのです。そこから、大学ではさらに「知」の高みを目指していこう。

3年5組 担任 田名網敏雄

皆さん、卒業おめでとうございます。本校での3年間は皆さんにとってどうだったでしょうか。納得できるだけの充実した高校生活であったでしょうか。それとも多少悔いが残ってしまったでしょうか。

私は、3年前からずっと「全力で」の言葉を、生徒会誌白布ヶ丘の担任寸言欄に書いてきました。まずは、がむしゃらになってやっとなさいと。語彙の貧困な担任でした。正直に言って、たとえ「全力で」進んでいったとしても5年後、あるいは10年後に今の自分を振り返ってみると気恥ずかしい思いをすることもあると思います。しかし、結果はどうあれ「全力」で取り組んだ結果は十分納得できるものであるはずで

す。これから先、恋に就職にそして生涯打ち込める何かを求めてがむしゃらに「全力」で立ち向かっていただきたいと思っています。そして縁があったらどこかでまた皆と一緒に何か「全力」で取り組むことができたらいいですね。

3年6組 担任 日下田圭祐

卒業おめでとう。よく頑張った。本当によく頑張った。雨の日も、風の日も白布ヶ丘に通い続けた君たちの努力は必ず将来花開くことと信じています。自分達の努力に対して誇りをもち、胸を張って新たなステージに進んでください。野球には、ショート（遊撃手）というポジションがあります。ショートはよく内野のキーマンと言われます。リーダーシップが求められ、もっとも打球の飛んでくるポジションであり、その守備力はチームの守備力を決めるといっても過言ではありません。華やかな半面、その責任は非常に大きなものです。野球はひとりでは勝てませんが、その逆はいくらでもあります。一人の出来次第で、早々と負けが決まってしまう。ワンプレーワンプレーに常に過酷さを持ち合わせているのです。

また、ショートは最も総合力が求められるポジションです。広い守備範囲と肩の強さやグラブさばき。強さとやわらかさ。野性味と緻密で冷静な判断力。単に浅く広くではなく、職人のような専門性も同時に要求されます。このポジションは、だからこそおもしろく、そして、難しい。世間一般で言うゼネラリストとスペシャリストの融合、それがショートです。

一流のショートになるための道はひとつではありません。しかし、結局、最後に頼りになるのは、昨日までに体のために込んだ自分の努力と仲間を信じる力だけです。政治・経済に限らずあらゆる分野で変化の激しい時代が続いています。その荒波を乗り越えて世界に羽ばたいていく君たちの姿に期待しています。「前へ！！」